

ふみびと

言葉の温かみ

第56号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

温かい 心の便り

手紙を書くとき、または文章を書くとき、それぞれ気をつけていることがあると思います。

面白い内容にできるように。失礼のないように。或いは間違った日本語を使わないように、などといったところででしょうか。

確かに知らず知らずのうちに間違った言葉を使ってしまうたら恥ずかしいという気持ちはあるかもしれません。

「バイト敬語」

と言われる、主に若者が使う「間違った日本語」が問題として挙げられることが多いので、言葉の使い方を特に意識されている方もいらっしゃると思います。

ところがそんな中、「バイト敬語」といわれる言葉の間違いは、日本人の思いやりや気遣いから生まれたものだという学者の方がいました。その方によると、まだ十分に敬語の使い方を知らない



い一部の若い小売業などの店員の方が、少しでも丁寧に気持ちを込めて話そうとして誤って使った言葉が定着してしまっただということなんです。

それが「正しい日本語」ではなくても、相手思いやるがあまり、間違ってしまった言葉であるとしたら、それはそれで美しい言葉でもあるのかもしれません。

「言葉」を使うときに

みんなの声をつくる 投稿テーマ 募集中

投稿のお題、募集中！

村民のみんなに聞いてみたいことを募集しています。こんなことを正直聞いてみたい...このお題にみんなが答えたら...みんなはどう答えるのかな...などなど、お互いを知りあうきっかけとなり、お題が実現したら、お気軽に事務局までお便り下さい。どうぞお送りくださいね！！

編集後記

文通村にも3回目の冬の訪れです。多くの手紙が行き交う文通村の冬は、寒さをあまり感じないらしいです(笑)。それは、手書きの字から伝わる温かさのせいでしょうか。寒々とする冬には、コタツに入って手紙を書けば身も心もホカホカ

お知らせ

少し早いですが、年末年始の回数についてです。12月30日は、年末年始のため回送はお休みです。年始は1月15日の発送からになります。詳しくは次回会報に「お知らせ」を同封いたします。

成功の反対

昔、どんな話の流れかは忘れたが、「成功」の反対は何かと、ある人に尋ねられたことがある。「成功」の対義語は「失敗」であるとか。そう考えた私は「失敗」と答えたのであったが、その人が言いたいことは、単なる国語の話ではなく、人生一般に於いての成功の反対は何かという問

いであった。その人曰く、成功の反対は「何もしないこと」。「失敗」は、成功に向かう努力の過程で起こる必要なものなのだ。「何もしないこと」は、成功か

ら一番遠い行動であるがゆえに、成功の反対に存在するらしい。ぜひ、これからの子供たちに伝えてゆきたい話である。同時に、数々の発明を成し遂げたエジソンの言葉も紹介したい。「『失敗?』これは、うまくいかないということを確認した成功だ